

プレスリリースについて

Global Health Product Development Partners Consortium、GVK バイオサイエンスをプロバイダーとして推奨

見過ごされやすい伝染病の薬品とワクチン開発に集中

2011年5月16日 – インド・ハイデラバード：本日、アジア先端の医薬品開発業務受託機関のGVK バイオサイエンスは、世界的なProduct Development Partners (PDPs) の14機関のコンソーシアムが、アジアの臨床サービスの推奨プロバイダーとしてGVK バイオサイエンスを選んだことを発表しました。GVKバイオは唯一インドに拠点を置くパートナーとなります。

ビル&メリンダ・ゲーツ財団が部分的に援助するPDPsは、大手の製薬・生物化学企業に顧みられない病気（ツベルクリン、マラリア、黒熱病、HIV/AIDS、小児肺炎、下痢症状など）の新規イニシアチブ開発を目的とする非営利機関です。今後2年間でコンソーシアムの14機関は、開発途上国における85例の臨床試験に資金調達する予定で、インドは其中で主要な開発途上国となります。

GVKバイオはPDPsの数機関とすでに協調関係にあり、インドとバングラデッシュの調査機関および公共機関と共に、疾病がもたらす社会・経済的負担を大幅に減少させることが目的の公共衛生プログラムとなる予防的治療法の開発を行っています。GVKバイオは全体的なプロジェクトマネジメントの他に、臨床試験モニター、ロジスティック支援、および安全監視のニッチ市場プロバイダーとしてPDPsと協同してゆきます。

GVKバイオサイエンス CEO Manni Kantipudi 氏のコメント：「GVKバイオサイエンスは、インドにおける顧みられない伝染病の健康解決開発に参加できることに並々ならぬ栄誉を感じます。この提携でPDPsの臨床プログラムの前進、および世界の多くの健康問題支援に参加できることを嬉しく思います。」

GVK バイオサイエンス：

GVK バイオサイエンス (GVK バイオ) は、アジアにおける主要な医薬品開発業務受託機関 (CRO) です。ライフサイエンスの研究とサービスの世界のリーダーになることを使命に、GVK バイオはライフサイエンスの研究開発バリューチェーンに圧倒的な範囲の総合的なサービスを提供しています。ディスカバリーサービスは分析サービス、化学サービス、バイオロジーと情報科学を行い、開発サービスは臨床研究、医事、臨床薬学、分析開発、プロセス研究開発、受託合成、製造受託を行います。GVK バイオサイエンスの約 200 社の多彩な顧客リストには、世界最大の製薬企業、バイオテクノロジー、農業化学、ライフサイエンス企業および世界の主要な学術機関が名を連ねています。詳しくは www.gvkbio.com をご覧ください。

詳細のお問い合わせ：

広報部部長代理 Sharada Alvakonda

GVK Biosciences Private Limited

電話： 0044-743-8307768

Eメール：sharada@gvkbio.com